

プロジェクト対象地域



宇宿貝塚史跡公園を拠点とするSDGs加速化事業

～観光×教育×環境サステナブル・ハブ整備プロジェクト～

プロジェクト実施体制

(プロジェクトマネジャー)
SDGs推進官

(タスクフォース)
リーダー:文化財課
紬観光課、世界自然
遺産課、学校教育課、
PJ課、笠利農林水産
課、産業振興課

(ディレクター)
政策アドバイザー

(助言・提言)
検討委員会
文化財サポーター

文化財の取組

- 文化財解析の側面
発掘調査成果の整理・活用
- 保存活用の側面
宇宿貝塚整備検討委員会の設立

社会面の取組

- 地域力向上の側面
集落参加、地域活性化の体制構築
魅力発信の手法検討
周辺史跡や資源のガイドブック
- 学習の側面
修学旅行誘致の検討
子供たちの学習機能の構築
職員研修の位置付け検討
北高観光ビジネス学習の取組み
- 子育て支援の側面
体験メニューの確立
雨天時の受入れ施設検討

SDGsの取組

- 拠点活用の側面
ワークショップの開催
本プロジェクトを官民連携、庁内横
断モデル事業として位置づけ
(パートナーシップの構築)
- 普及啓発の側面
SDGsモデルとしての情報発信

宇宿貝塚ハブ整備(コア事業) (R6)

1. 宇宿貝塚リニューアル整備
 2. 普及啓発推進業務
- (R7)
3. 屋根・外壁等改修工事
 4. デジタルコンテンツ整備

経済面の取組

- 観光の側面
北部観光のコンテンツ化
周遊・体験観光の確立
周辺史跡や資源のサイン整備
ユニバーサルツーリズム対応
インバウンド対応
- 物産の側面
お土産品の開発
食の提供検討
子どもたちのトライアル事業
- PPPの側面
PFI(RO)による可能性検討
農村公園の再生(収益化)

環境の取組

- 生物多様性保全の側面
普及啓発の発信強化
縄文×SDGsの学習ツール制作
森と海の多様性紹介
- 環境保全の側面
ビーチクリーン、外来樹木伐採
- 地域循環共生圏の側面
地域資源の経済循環モデル事例
創出
- 脱炭素の側面
ハブ施設のゼロエネルギー化
縄文を意識した周辺施設整備